

通し番号	3709
------	------

分類番号	12-44-12-08
------	-------------

(成果情報名) スプレーカーネーション新品種の品種比較	
[要約] スプレーカーネーションのピンク早生系の品種比較を行ったところ、'リセエンヌ'、'メモリーリバー'が生産性が高く'ピンクビジュール'は省力的に高品質な切り花が得られた。	
農業総合研究所・生物資源部	連絡先 0463-58-0333

#### [背景・ねらい]

スプレーカーネーションの特性を明らかにし、現地での品種選定のための基礎資料とする。本年度はピンク系の早生品種10品種について検討する。

#### [成果の内容・特徴]

- 1 'リセエンヌ'は、開花始めは対照とした'ライトピンクバーバラ'より1ヶ月程早かったが、1番花は軟弱なものが多かった。下位の蕾から開花する傾向があった。草勢が強く、株当たりの切り花の本数が7.5本と生産性が高かった。
- 2 'メモリーリバー'は、開花始めは'ライトピンクバーバラ'より2ヶ月程早かったが、1番花は軟弱なものが多く輪数も少ないため商品性に劣るものだった。花は小輪でやや切り花のボリュームに欠けるが、茎は細くバランスのよい切り花が得られた。草勢が強く、株当たりの切り花本数は、8.3本と最も生産性が高かった。
- 3 'フルーレット'は冬季までは下葉の枯れ上がりが多く、輪数も少なく商品性に劣るものだったが、春季は、丸弁でボリュームのある切り花が得られた。下位の蕾から開花する傾向があった。
- 4 'ピンクビジュール'は、花径が大きく、茎、側枝、側蕾がまっすぐ上に伸長し、ボリュームのある高品質な切り花が得られ、'ライトピンクバーバラ'以上の生産性が認められた。

#### [成果の活用面・留意点]

'リセエンヌ'および'メモリーリバー'は、草勢が強く生産性に優れているが、1番花は軟弱で商品性に劣るため、定植を遅らせる等品種に適した栽培法の検討が必要である。

[具体的データ]

表1 スプレーカーネーション品種の特性

品種名	定植日	開花始め	花径(mm) <sup>1</sup>
クイパケーション	6月22日	11月9日	49.4 ± 2.0
クイパキン	6月22日	10月2日	46.0 ± 1.6
クイオペラ	6月22日	10月13日	53.8 ± 1.6
リセエンヌ	6月15日	9月14日	43.3 ± 2.1
メモリーリバー	6月15日	9月6日	44.9 ± 3.1
フルーレット	6月16日	10月20日	58.4 ± 2.8
ピンクビジュ	6月16日	10月11日	57.1 ± 3.3
ピンクレディー	6月16日	10月2日	44.5 ± 1.9
ガンジーピンク	6月16日	10月6日	56.3 ± 1.9
シシリー	6月16日	10月23日	48.8 ± 2.6
ライビツクハバハラ(対照)	6月16日	11月2日	50.5 ± 1.6

\*1: 5月に10花について測定

表2 スプレーカーネーション品種の月別切り花本数

品種名	切り花本数(本/株)									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
クイパケーション			0.30	0.32	0.67	0.52	0.50	0.72	2.50	5.52
クイパキン		0.33	0.45	0.20	0.27	0.23	0.45	1.48	1.68	5.10
クイオペラ		0.42	0.83	0.28	0.23	0.20	0.42	1.17	1.28	4.83
リセエンヌ	0.67	1.02	0.18	0.10	0.30	0.85	1.02	1.52	1.83	7.48
メモリーリバー	1.22	0.70	0.13	0.18	0.67	0.70	1.18	1.75	1.73	8.27
フルーレット		0.05	0.05	0.50	0.62	0.45	0.25	0.62	1.95	4.48
ピンクビジュ		0.43	0.60	0.37	0.18	0.33	0.95	1.62	1.18	5.67
ピンクレディー		0.95	0.63	0.23	0.17	0.07	0.17	1.07	1.63	4.92
ガンジーピンク		0.27	0.50	0.50	0.07	0.13	0.30	2.03	1.73	5.53
シシリー		0.10	0.62	0.53	0.30	0.22	0.28	0.97	2.13	5.15
ライビツクハバハラ(対照)			0.40	0.80	0.53	0.32	0.35	0.87	1.80	5.07

表3 スプレーカーネーション品種の時期別切り花品質

品種名	9~12月			1~3月			4~5月		
	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	下垂度 <sup>2</sup>	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	下垂度	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	下垂度
クイパケーション	61.5	34.1	2.4	65.8	44.3	1.6	70.0	63.4	1.1
クイパキン	62.8	24.1	2.5	61.3	34.5	1.2	73.0	45.4	1.0
クイオペラ	58.7	25.0	2.1	54.8	34.6	1.0	71.5	58.1	1.0
リセエンヌ	54.9	20.6	2.2	60.2	30.8	1.1	75.0	40.4	1.0
メモリーリバー	60.2	18.5	2.9	53.5	22.8	1.1	67.5	32.0	1.0
フルーレット	63.8	28.4	3.1	61.2	35.3	1.1	77.0	62.0	1.0
ピンクビジュ	66.4	27.2	2.6	63.8	37.7	1.3	77.3	52.1	1.0
ピンクレディー	58.7	24.0	3.5	58.6	36.8	1.5	74.4	52.9	1.0
ガンジーピンク	69.1	19.2	3.5	68.5	37.3	1.2	82.0	53.8	1.0
シシリー	68.2	27.7	2.8	63.3	33.2	1.1	76.8	55.1	1.0
ライビツクハバハラ(対照)	69.3	31.5	2.3	61.5	38.8	1.2	73.8	61.6	1.0

2: 切り花の先端から45cmの位置で水平に保ち、支点と花を結ぶ角度を数値化、

10°未満: 1、10~19°: 2、20~29°: 3、30°以上: 4

[資料名] 平成12年度試験研究成績書(花き・観賞樹)

[研究課題名] 花き品種の特性検定  
カーネーションの新品種の特性検定

[研究期間] 平成12~14年度

[研究者担当名] 上西愛子・柳下良美・原 靖英